

矢島せい子 年譜



1970年ごろの矢島せい子、祐利

1903年（明治36） 0歳

4月6日 東京浅草千束町2丁目59に生れる。父加藤伝太郎、母まつの長子。その後叔母石井ひさの養女となり、浅草馬道に住む。

前年、八甲田大惨事、翌年、日露戦争始まる。

1910年（明治43） 7歳

4月 浅草小学校へ入学。

1914年（大正3） 11歳

養母が日本橋区蛸殻町1丁目4番地へ転居したので日本橋の有馬小学校へ転校。

7月 第1次世界戦争始まる。

1916年（大正5） 13歳

3月 有馬小学校卒業、日本橋女子高等小学校へ入学。

1917年（大正6） 14歳

方たがえ迷信のためいったん芝区桜川町15番地へ転居したのち浅草へ戻る。

11月 ロシア革命。

1918年（大正7） 15歳

壁が生乾きの新居へ移って風邪をひき、つづいて肋骨カリエスになり肋骨2本を切除。その後養母と共に草津温泉へ行く。

1919年（大正8） 16歳

4月 本郷菊坂町の佐藤高等女学校へ編入学。

6月 ベルサイユ条約。

1921年（大正10） 18歳

佐藤高等女学校卒業、日本女子大学家政科へ入学。

10月 原敬暗殺される。

1922年（大正11） 19歳

授業料滞納のため日本女子大学を中途退学。

7月 日本共産党結成。

1923年（大正12） 20歳

9月1日 関東大地震にあい、浅草の家を焼かれて栃木県安蘇郡田沼町戸奈良の眼科医石井藤吉方へ身を寄せる。その後間もなく隣村赤見村の出流原小学校の代用教員を勤める。

1924年（大正13） 21歳

栃木県で検定試験を受け、小学校本科正教員の資格をとる。

1925年（大正14） 22歳

4月 浅草小学校へ転勤。

1926年（大正15） 23歳

8月 矢島祐利と結婚し、上野桜木町52番地に住む（祐利は東京大学勤務）。
12月 浅草小学校辞職。

1928年（昭和3） 25歳

4月19日 長男文夫生れる。

1930年（昭和5） 27歳

8月9日 2男敬二生れる。

1931年（昭和6） 28歳

高井戸町大宮前335番地へ移る（1929年アメリカに経済恐慌が起こり、わが家も家賃の安い所へ移った）。

1932年（昭和7） 29歳

8月14日 長女まさ子生れる。

1933年（昭和8） 30歳

千葉県市川町真間（葛飾郡市川町994）へ転居。

細井和喜蔵『女工
哀史』。

第1回普選。

5月 官吏減俸

1月 上海事変。

2月 国際連盟脱
退。

1934年（昭和9） 31歳

9月3日 3男敏彦生れる。

11月 祐利病氣静養のため家族全員で房州保田へ移り越年。

1935年（昭和10） 32歳

3月 市川へ戻る。

4月 文夫真間小学校（当時市川小学校分教場）へ入学。この年 松戸友の会の板倉さんから参加をすすめられた。

1936年（昭和11） 33歳

1月 鈴木文子さん宅へ集り松戸友の会市川最寄をつくる。

2月26日 市川最寄の日であったが事件のため中止。この年築地小劇場へ「昆虫記」を見に行き、羽仁さん一家に会う。両家とも子ども連れ。

1937年（昭和12） 34歳

4月 敬二真間小学校へ入学。月末子ども4人ハシカにかかる。

6月11日 まさ子と敏彦疫痢に感染。本所の佐々木病院へ入院。15日まさ子死亡。敏彦は助かる。

8月 北軽井沢のトルネ山荘で過ごす。

1938年（昭和13） 35歳

3月 船橋町小栗原へ越す。

6月15日 まさ子の一周忌に親しい人びとを呼び、追悼録『すみれぐさ』を配る。その後猩紅熱にかかり佐々木病院へ入院。

1939年（昭和14） 36歳

3月 市川町平田207へ移る。

3月 ワシントン軍縮条約破棄。

9月 室戸台風。

2月 美濃部達吉の天皇機関説問題化。

2月 二・二六事件。

7月 日中戦争始まる。

4月 国家総動員法公布。

5月 ノモンハン事件。

10月 価格統制令。

1940年（昭和15） 37歳

鈴木文子さん一家が大阪へ転住となり送別会を開く。

1941年（昭和16） 38歳

3月19日 石井ひさ死亡

4月 祐利京城大学へ転任のため京城に移り住む。文夫は京城中学へ新入学。敬二は昌慶小学校へ転校、敏彦は同校へ新入学。間もなく京城友の会に加わり、夏期子供会を京城大学構内で開く。

1942年（昭和17） 39歳

京城幼児生活団を兎島さん宅で始める。

1943年（昭和18） 40歳

10月 弟徳之助応召。この年も京城幼児生活団の仕事をする。

1944年（昭和19） 41歳

文夫勤労働員先で盲腸炎になり、トラックで運ばれて京城大学病院で手術。その後自分も胃の痛みで入院。

1945年（昭和20） 42歳

3月 幼児生活団の解散を勧告される。

8月15日 敏彦は明日北朝鮮へ学校疎開に決まっていたが、奇跡的にも敗戦で行かずにすんだ。

11月20日 山口県仙崎へ上陸。祐利の郷里栃木県佐野在へ到着く。

12月25日 市川町968津田百合子さん宅へ仮寓。

9月 日独伊3国同盟。

12月 大政翼賛会。

4月 日ソ中立条約。

7月 日本軍南部仏印へ進駐。

12月 太平洋戦争始まる。

4月 シンガポール攻略。

6月 ミッドウェー海戦。

2月 ガダルカナル敗退。

4月 山本司令長官戦死。

6月 サイパンを失う。

7月 東条内閣退陣。

11月 東京空襲。

8月 原子爆弾、敗戦。

9月17日 枕崎台風。

10月 政治犯釈放指令。

11月 政党続々

- 祐利は進駐軍の経済科学局へ勤務。
- 1946年（昭和21）43歳
- 3月9日 市川町1017岩谷さん方へ移る。
8月 弟加藤徳之助マノクワリから帰る。
9月8日 船橋町海神5の206三木さん方へ移る。
11月16日 津田沼駅前原町236板井さん方へ移る。
- 1947年（昭和22）44歳
- 敏彦は新制中学へ進学したが学校が始まらないので、祐利が家庭学校を開く。近所の子どもも加わる。
5月2日 父加藤伝太郎死去、敏彦を連れて京都へ行く。
- 1948年（昭和23）45歳
- 4月10日 船橋町小栗原3の56大嶋さん方へ移る。
7月 祐利は進駐軍を辞し、9月から東京物理学校へ勤務（翌年東京理科大学発足）。
- 1949年（昭和24）46歳
- 1月9日 中山町3丁目32へ転居。戦後初めて一戸建てに住む。秋、母加藤まつ京都から上京、中山の家へ泊まる。群馬県吉井町へ送って行き、また迎えて東京駅まで送る。
- 1950年（昭和25）47歳
- 8月 祐利科学史国際会議のためオランダへ行く（手縫いの洋服を作る）。
- 1951年（昭和26）48歳
- 5月5日 児童憲章が制定され、この日が子ども
- 結成。財閥解体。
- 1月 天皇神格否定の詔書。
2月 新円切替え。
5月 極東軍事裁判開廷。
12月 6・3・3・4教育体制。
- 3月 教育基本法・学校教育法。
5月3日 日本国憲法施行。
- 11月 極東国際軍事裁判判決。
- 7月 法隆寺金堂炎上。農地改革終る。
11月1日 中華人民共和国成立。
- 6月 朝鮮戦争始まる。
- 9月 講和条約・日米安全保障条

の日と定められた。
この年は市川友の会のことと洋裁の勉強をつづけた。

1952年（昭和27） 49歳

5月17日 日本子どもを守る会が結成され、これに加わる。
12月31日 来年から勉強したいと家のものにする。
この年岩波婦人叢書の1冊を祐利と共に依頼され、そのため資料集めを始める。

1953年（昭和28） 50歳

5月 小栗原で農繁期子ども会を開く。祐利共著『家事と雑用』出版。

1954年（昭和29） 51歳

2月21日 初めて民俗学女の会（女性民俗研究会）へ参加。
10月2日 第6回日本民俗学会が教育大学茗溪会館で開かれ、柳田国男先生80歳の祝賀があった。
この年、上野たか子ちゃんを連れて整肢療護園や梅ヶ丘病院を回る。

1955年（昭和30） 52歳

1月 国府津に柳田先生を訪ねる。
6月7～9日 第1回母親大会。同11日 民俗学研究所で女性民俗の会があり、その時の写真が『婦人之友』8月号に載った。
8月初め 母まつと2人で安代温泉へ行く。
10月 その喜寿の祝。10月27日 上野発。翌日長岡高女で講演。小島田池田さん方へ泊まる。
29日 帰宅。

約調印。

2月 日米行政協定調印。

4月 日米講和条約発効。

5月 メーカー騒擾事件。

6月 内灘試射開始。

1月 二重橋参賀者死傷事件。

3月 MSA 調印

6月 近江絹糸人権スト。

2月 国際民婦連總會（ジュネーブ）。

6月 日ソ交渉（松本・マリク会談）始まる。砂川事件。

7月 世界母親大会へ日本代表12名出發。

1956年（昭和31） 53歳

- 8月27日～29日 第2回日本母親大会。
 9月初め 湯檜曾温泉に1泊、翌日祐利が水上の理科大学ヒュッテを見に行くのに同行。この月、長岡へ講演に行く。
 11月 三重県答志島へ民俗採集に行き、初めて写真を試みる。

1957年（昭和32） 54歳

- 6月 子どもを守る会5周年。
 この年、家庭科研究会が国学院家庭科で開かれた。岡山民俗学会に出席。市川子どもを守る会。森永赤ちゃんグループ。歯痛に苦しむ。

1958年（昭和33） 55歳

- 1月 別府教研に出席、帰路大分県森で民俗採集。
 9月 日本テレビの「特殊教育」に関する会合に出席。この年、第1回千葉県母親大会。伯母得田とみ死去。

1959年（昭和34） 56歳

- 1月 大阪教育研究集会（以下教研）。
 5月3日長野県飯田母親大会。この月 栃木県三依へ民俗採集に行く（五十里ダムの上流地方）。
 7月5日 千葉県御宿へ民俗採集に行く。馬場さん・斎藤さんと一緒。
 8月12～15日 福井教研に助言者として出席（福井市松本小学校・敦賀第二中学校）。台風7号に遭う。
 11月22・23日 第7回子どもを守る文化会議（仙台）。この年 1月7～9日、3月30～31日、4月11～13日、5月25～29日、日本テレビで話をした。

- 1月 原子力委員会発足。
 3月 日米技術協定調印。
 5月 日ソ漁業協定調印。
 10月 国際連合加盟。砂川闘争。

- 4月7日 羽仁もと子さん死去。
 10月 国際連合非常任理事国に当選。南極観測船宗谷出発。

- 6月 対米・対英原子力1般協定に調印。
 9月 狩野川台風、伊豆関東を襲う。

- 3月 安保改正反対国民会議。東京地裁、砂川事件に無罪判決。
 4月 最低賃金法可決成立。
 9月 伊勢湾台風。

1960年（昭和35） 57歳

- 1月25～30日 千葉で全国教研。
- 2月8～12日 日本テレビ講座。
- 3月9～10日 日本テレビ講座。
- 10月8～9日 日本民俗学会（日大工学部新館）。
31日ワクチンの輸入につき厚生省へ陳情に行く。
- 11月 羽仁説子参議院議員立候補の事務局長をつとめる（12月選挙落選）。

1961年（昭和36） 58歳

- 5月16～25日 盲腸炎で市川市内今泉医院へ入院。
- 6月 歯が痛み抜いて入歯にする。
- 7月23日 千葉県母親大会。
- 8月2日 転んで脚を痛める。20・21日、日本母親大会。23・24日、駿河台ホテルで日教組家庭科の会合。
- 9月30日 婦人問題懇話会の初会合がYWCAであったが出席できなかった。
- 10月7・8日 民俗学会（立教大学）。
- 11月 岡山で子どもを守る文化会議。

1962年（昭和37） 59歳

- 1月 日教組福井教研。
- 4月15日 母加藤まつ死去。28日 婦人問題懇話会に出席。
- 5月3日 柳田国男先生米寿祝賀。この日三河島事故起こり、死者160人重軽傷者325人。これが全交運（全日本交通運輸労働組合協議会）との出会いとなる。
- 8月8日 柳田先生ご死去。
- 11月24日 胆石のため聖母病院へ入院。

- 1月 民主社会党発足。
- 3月 三井三池スト大衝突。
- 5月 黒いジェット機事件。チリ津波。日米安保条約改定闘争。
- 10月 社会党浅沼委員長刺殺。

- 4月 ライシャワー米大使着任。新学習指導要項実施。金融引き締め、株価暴落。学力テスト。
- 8月 松川事件全員無罪判決。

- 3月 軍縮のための世界婦人集会（ウィーンで）。
- 5月 池田内閣人づくり政策。

1963年（昭和38） 60歳

- （1月 病後のため日教組鹿児島教研には出席できず）。
- 4月 『婦人之友』60年記念号へ「学問と芸能の家」を書く。
- 8月21・22日 日本母親大会（明大）。25～28日、北海道行。小樽農協で講演、札幌の松岡俊子さん方へ泊まり、帰りに2人で登別温泉へ1泊した。
- 10月18～23日 民俗学会（京都同志社大学）。
- この年 婦人問題懇話会の会報が発足した。

1964（昭和39） 61歳

- 1月 岡山教研。その後羽仁説子さんと龍野・京都旅行。
- 2月 子どもを守る文化会議（京都）。
- 3月 茨城農協へ講演に行く。
- 4月4～14日 岩手県北福岡その他で民俗調査。
- 30～5月1日 福島県郡山。
- 10月3・4日 民俗学会（東京女子大）。
- 12月12日 婦人問題懇話会の忘年会が参議院議員宿舎（伊藤よし子席）で開かれた。
- この年、第1回の『子ども白書』が出版された。また山川菊栄さんと鷺子薄井の話をはじめた。

1965年（昭和40） 62歳

- 1月12日 福岡教研のためさくらで立つ。
- 2月5・6日 信州堀金。8～14日、愛媛。
- 3月4～6日 酒田。8・9日茨城県鷺子調査、山川・埴・瀬谷・桜井氏と。24日信州小海へ行き佐藤万喜さんへ1泊。
- 6月「鷺子薄井家のことなど」が『茨城県史研究』へ出る。
- 7月24・25日新潟県亀田白根。
- 8月4日 千葉県母親大会。16～18日 武蔵御岳で夏期教研。22日 日本母親大会（台風の

11月9日 鶴見事故。

文部省は今年度からアメリカの脱脂ミルクを給食の代わりに中学生に飲ませることにした。

8月 ベトナム、トンキン湾事件。

10月 東京オリンピック。

1月 ベトナム戦争新段階に入る

3月 ソ連初の宇宙船成功

8月 アメリカでベトナム戦争反対運動起こる。

ため早く終る)。23日 同(都立体育館)。
10月2・3日 民俗学会(桐朋学園)。

1966年(昭和41) 63歳

1月12日 福島の教研に行き、三春訪問、18日
帰宅。
2月3・4日 伊豆で守る会合宿。
4月16日 長野行、佐藤さんの上田の家へ泊まる。
5月30日 守る会15周年パーティ(伊勢丹)。
6月 杉並ろう者の会。福井。
7月10～12日 新潟県亀田白根。
8月7日 千葉県母親大会。21・22日 日本母
親大会。23～25日御岳。26日 第1回家教連
(家庭科教育者連盟)総会(東京都立体育館)。
27日 群馬県利根郡。
9月3日 長野県須坂。4日群馬県万座。
10月1・2日 民俗学会(伊香保)。22～24日
新潟県三条南蒲原。11月4日 足利の包(か
ね)子さんへ泊まり、翌日館林二中で講演。24
～28日 松江・鳥取・倉吉・米子。
12月1日 藤沢農協へ行き、山川さんへ泊まる。
18～24日 愛媛。

1967年(昭和42) 64歳

1月20～25日 第16次日教組伊勢教研、その
後鳥羽へ回り26日、帰宅。
2月11日 守る会文化会議(国立音楽大学)、大
雪となり小金井の文夫宅へ泊まり、翌日国立1
中で会合。
5月22・23日 箱根朝霧荘で守る会合宿。
6月10日 守る会総会パーティ
7月30日 日本母親大会分科会(東洋大学)。31
日 同全体会議(都立体育館)。
8月6日 千葉県母親大会。22日茨城県那珂湊。
23日 静岡県袋井。

アメリカのベトナム侵略戦争拡大、
米軍37万を越す。
交通事故死1万3千名。
中小企業の倒産6万4200件。
ひのえうまの年、
出生率前年の25%減。

5月 革新都知事
美濃部亮吉氏当
選。

10月14・15日 民俗学会（成城大学）

12月4日 障全協（障害者の生活と権利を守る
全国連絡協議会）の第1回会合。

1968年（昭和43） 65歳

1月20日 静岡、26～30日 第17次日教組新潟
潟教研、31日 帰宅。

2月2日 山梨県勝沼。8～11日秋田県湯沢・
稲川町。19日 NHK102スタジオ放送。26日
宇和島に行き、立間・八幡浜・今治・西条・
松山を回り、龍野を訪ねて3月4日帰宅。

3月15・16日 守る会箱根合宿。この月、長野
県小海。

6月19・20日 三重県鳥羽。

7月26～29日 全障研（全国障害者問題研究会）
第2回会合（高槻）。近江学園・びわこ学園訪問。

10月4～9日 民俗学会（山形大学）。

11月25・26日 障全協第2回会合。

1969年（昭和44） 66歳

1月29～31日 日教組熊本教研。天草・長崎へ
回る。

2月6日 山梨県御勅使中学。8・9日 守る会文
化会議（大宮）。18日、群馬県玉村町。23～3
月1日 沖縄行。那覇・宮古。

7月27日 千葉県母親大会。

8月3・4日 第4回家教連（洞爺湖）。17・18
日 日本母親大会。25日 新潟県新発田。31
日 伊勢崎。

9月7日 長野県飯山。12・13日カネミオイル
問題で小倉行。

11月28日 障全協第3回会合。

11月30・12月1日 大垣行。

1月 南ベトナム
で解放勢力テト
攻勢。

2月 アメリカ北
爆停止を声明。

5月 パリでベト
ナム平和会議始
まる。

この年、イザナギ
景気、3C（カー・
クーラー・カラー
テレビ）時代始ま
る。

8月16日 第15
回母親大会に日
本婦人会議は不
参加、母親大会
分裂。

12月 東京都、
老人医療費無料
化を実施。

1970年(昭和45) 67歳

2月7～10日 日教組岐阜教研。
11月8日 第22回日本民俗学会で鹿児島へ行く
(この年の手帳を失ったので詳しいことが分らないが、主なる行先) 日大歯科衛生士会で話をした。第3回家教連大会(新潟県村上岩船)。西多摩。岩手・花巻・宮古・徳田大萱生。木曾。下伊那。福井。秋田(能代山本)。宮崎。水戸養護学校。静岡県浜名支部。館林。東葛飾。

1971年(昭和46) 68歳

1月13～16日 日教組教研(台東区東泉小学校)。
27～29日 京都交研。30日 境行き。
2月6・7日 子どもを守る文化会議(武蔵大学)。
7日の帰りに家の近くでひったくりハンドバ
ッグを奪われた。この中に1970・1971 岩波手帳、
ゆびぬきの手帳が入っていた。9・10日伊勢松
坂。28日 京都サリドマイドの会。
3月4日 檜原小学校。9・10日 石井かず子さ
んの葬儀で栃木県へ行く。
5月13～15日 岩手県釜石。
7月10・11日 福井県敦賀。29・30日館山。
8月1日 千葉県母親大会。2～4日 第6回家
教連(箱根)。5～9日、さきに下部温泉に行
っていた祐利と敏彦と合流。11～14日 肥後
大津と阿蘇町。17日ギックリ腰になり10日ほ
ど休む。28・29日 日本母親大会。
11月13～15日 北九州八幡。
12月10～14日 子どもを守る文化会議(盛岡)。

1972年(昭和47) 69歳

1月14・15日 日数組山梨教研。29～31日伊
東で交研集会。
4月3・4日 敏彦のところ4人とうちの2人で
箱根に行く。芦の湯に1泊、翌日湖水を渡り十

1月21日 主婦
連などチクロ・
食品不買同盟結
成。
3月31日 赤軍
派日航のよど号
をハイジャック。

7月30日 自衛
隊のジェット機、
雫石町上空で全
日空機と衝突、
全日空機の162
名死亡。

7月1日 勤労婦
人福祉法公布施
行。

国峠を越えて熱海から新幹線に乗りそれぞれ帰宅。

7月30・31日 千葉県母親大会15周年。

8月2～6日 第7回家教連(大分)。9・10日 全障研(仙台)。19～22日日本母親大会(仙台)。27～29日福山女教師の会。この時草戸千軒の発掘を見る。

9月9・10日 茨城県鷲子昭願寺の吊鐘が再建造され、つきぞめ式に出席。

10月7～9日 富山。

1973年(昭和48) 70歳

1月13～17日 日教組和歌山教研に出席、終ってから串本に1泊。31～2月1日 交研。この月、葛飾盲学校、岩手県水沢子どもを守る会に行く。

2月9・10日 障全協総会。24・25日 子どもを守る文化会議(教育会館)。26・27日、子どもを守る会合宿(伊豆長岡)。

5月5日 子どもまつり。19・20日 子どもを守る会総会。

7月22・23日 千葉県母親大会。28・29日 全障研(金沢)。

8月2・3日 銚子市と旭市。6～9日、家教連(京都)。18・19日 日本母親大会(京都立命館大学・府立体育館)。

9月 霧ヶ峰。

10月4・5日 前橋農協で講話。6・7日 日本民俗学会(聖心女子大学)。20・21日 福岡県行方市。

11月 共立女子大学。

12月10・11日 障全協。

8月8日 金大中氏、白昼東京のホテルから連れ去られる。

1974年(昭和49) 71歳

1月5日 関東全障研で講演。17～21日 日教

7月 第1回日本人口会議、「子

組山形教研。27日飯田母と女教師の会。
2月 大多喜。
3月 子どもを守る文化会議（板橋）。
7月21・22日 千葉県母親大会。
8月7・8日 家教連（湯檜曾）。10・11日 日本母親大会（明大武道館）。16日 日立母親大会。30日 宝塚教研で講演。
10月18日 明石。26日 弟友一死去。

1975年（昭和50） 72歳

1月18日 横浜母と女教師の会、終って横浜病院に入院中の山川菊栄先生を見舞う。23～27日 日教組岡山教研。
2月27日 市川西部公民館で講演。26日 障全協緊急集会、午後各省交渉。
3月2日 君津公民館で講演。6日 藤沢母と女教師の会。
4月3日 全交運家族会（日通会館）。28日 障全協事務所開き。
5月5日 子どもまつり（砧）。13日 大矢恒子さんに頼まれて新座へ講演に行く。22日 横浜菊名母と女教師の会。
6月3日 江戸川養護学校。18日 船橋中央婦人学級。
7月10日 障全協総会。20・21日 千葉県母親大会。23日 船橋公民館（海神）。27日 全障研埼玉大宮大会で講演。28～30日 民俗学会（東京）、柳田先生生誕百年。31日 末弟徳之助死去。
8月6日 第6回家教連。7・8日 日本母親大会。10日 戸山高校で母と女教師の会。24日 水戸母親大会
9月2日 町田教育委員会の依頼で講演。24日 障全協活動者会議。25日大穴で講演
10月2日 三田公民館。5日 障都連（山野ホー

供は2人まで」の大会宣言を採択。

6月 国際婦人年世界会議（メキシコシティ）。
10月1日 国勢調査、農家戸数500万戸を割る。

ル)。17・18日 木曾福島。21日 第2回大穴講演。23日 千葉県八千代市。26日 聴障者の会（労音会館）。
 11月1日 日通家族会（日通会館）。13日 狛江。24・25日障全協。30日 成田富里村。
 12月2日 勝浦。5日 狛江。6・7日 飯山。15日 君津。

1976年（昭和51） 73歳

1月22～26日 日教組大津教研。
 2月3～5日 全交運交研（伊東）。12日 館山母と女教師の会。
 3月13・14日 子どもを守る文化会議（正則高校）。
 4月11日 三重県津市で退廃文化をなくす会。
 5月5日 子どもまつり（砧）。15日 児童憲章について（朝日講堂）。16～17日 守る会総会。
 6月7日 交通事故をなくす会。13日 千葉全通婦人部。20日、障全協。
 7月3・4日 尾鷲母親大会。25・26日 第19回千葉県母親大会で講演。
 8月7・8日 日本母親大会（国技館）。18日 茨城県古河母と女教師の会。28日 秩父母と女教師の会。29日 障全協（聖高原）。
 9月15～17日 京都子どもを守る会。与謝の海見学。
 10月5・6日 鴨川公民館で女子職員に講話。16日、30日 朝日講座。
 11月1日 世田谷婦人学級。3日 浜松母と女教師の会（馬立小学校）。21日 八街。25日 千葉市民会館の保護司大会で講話。
 12月1日 世田谷赤堤PTA。18日 甲府母と女教師の会。

1977年（昭和52） 74歳

1月11日 中山婦人会で講話。27日 浦和で教

1月、ベトナム社会主義共和国成立。
 10月 歴史学者・教育学者34名、元号制度存続に反対声明。

7月 国立婦人教育会館発足。

研打合せ。28～31日 川越女子高で家庭科の会。
2月5日 九十九里会館で長生母と女教師の会。
8日 君津市小糸公民館。12日 大月母と女教師の会。16日 佐倉福祉事務所。17日 船橋婦人学級（その後、3月23日まで5回）。19日 春日部大畑小学校。24・25日 子どもを守る会合宿（熱海）。26・27日 子どもを守る文化会議（武蔵野市六中）。30日 千葉県茂原市長柄婦人会。
5月8日 子どもまつり（5日雨のため延期）。14日 守る会二五周年記念会。15日 同総会。21日 障全協総会（田町東障会館）。24・25日 御宿小学校。28日静岡母親大会（富士市）。
6月10日 ヘレン・ケラー賞授賞式 [矢島せい子受賞]。13日 市川更正婦人の会。21日 習志野屋敷公民館。24日 藤沢行。28日 世田谷区三軒茶屋家庭学級。
7月19日 習志野市袖が浦西小学校。23・24日 千葉県母親大会。
8月26・27日 鹿島母と女教師の会。27・28日 障全協活動者会議（伊豆土肥）。29日 日本母親大会（豊島公会堂）
9月7日 行徳太子堂幼稚園。13日 袖が浦西小学校。14日 菅野小学校。18日 新座母親大会。23・24日 守る会理事会（横浜）。
10月1・2日民俗学会（東洋大学）で「ゆびぬき考」を発表。4日 袖が浦西小学校。6日 船橋公民館。13日 大多喜夷隅西小学校。
11月2日 小金井老人問題の会で新しい家庭のあり方について講話。6・7日 障全協（青少年センター）。9日 船橋西田喜野井。29日 水戸県民会議（歴史館）。
12月11日 三越劇場へ民芸の「ヘレン・ケラー」を見に行く（招待）。16日 屋敷公民館婦人学級。19日 幼老障三者合同会議（日消ホール）。

1978年（昭和53） 75歳

- 1月18日 守る会25周年記念集会。25～29日 日教組沖繩教研。その後石垣・竹富・宮古・おなが園・那覇を訪ね2月1日帰宅。
- 2月8日 NHKラジオで「指ぬきを尋ねて」を話す。14日、茅ヶ崎龍前院幼稚園。28日 リスの会。
- 3月7日 小岩養護学校。8日 菊田公民館寿（ことぶき）学級。13日 新座福祉作業所。
- 4月1日 守る会文化会議（戸山高校）。
- 5月5日 子どもまつり（代々木公園）。30日 市川民生委員総会で講話。
- 6月3日 稲毛中学。17日 野田キッコーマン婦人部。21日 みどり中学。24日 共作連（オリンピック・センター）（共作連は共同作業所連）。
- 7月2日 嵐山町関東ろうあ婦人大会。5日 習志野幼児家庭教育。6日 光明養護父母会。11日 塚田小学校PTA。22・23日 千葉県母親大会（院内小学校）。29・30日 日本母親大会（明大・日比谷）。
- 8月26・27日 障全協交流会（大阪）。
- 9月11日 日本女子大学。13日 町田市。23・24日 守る会理事会（神戸）。30日 千葉保育専門学校。
- 10月7・8日 民俗学会（奈良）。9日 見学。16日 習志野仲よし幼稚園。21日 君津母と女教師の会（久留里）。26日 日立市多賀。29日 千葉県三芳母親大学。31日 大多喜母子福祉の会。
- 11月3日 文京区盲学校七〇周年の会で講話。7日 大妻卒業生千葉の会。10日 経堂婦人会館。25日 国際児童年の会。30日 中山西部公民館。
- 12月10・11日 障全協大会。18日 久保講堂。

11月30日 子ども
もの人権を守る
連絡会議発足。

1979年(昭和54) 76歳

- 1月8日 障全協(教育会館)。28日 川崎母親大会、帰りに山川さんへ寄る。
- 2月3日 大津へ。4日 同地で関西ろう婦人大会。6日 作並温泉へ行く、8日まで全交運交研(交通問題研究会)。土屋さくさん宿で転んで怪我。10日 千葉県大原母と女教師の会。
- 3月2日 青梅かすみ台中学。5日 船橋若松団地。8日 京城生活団の集り(新宿トロアフェザン)。10日 千葉婦人の集会。15日 市川図書館読書会。20～23日 新潟県大江山農協。27日 鎌ヶ谷婦人学級。29日 浅草仲見世会館。
- 4月19日 障全協母親教室(千駄谷区民会館)。
- 5月5日 子どもまつり。13日 市川市民会館で母の思い出について話す。18日 障全協母親教室(第2回)。19・20日 守る会総会。30日 市川信徳小学校。
- 6月3日 障全協総会。9日 群馬全通(前橋)。14日 障全協母親教室(第3回)。19日 水戸市地婦連。
- 7月1日 石岡(玉星村)。8日青森母親大会(7日出発、8日 三沢泊まり、それからハンセン氏病療養所松ヶ丘保養園を訪ね、9日帰宅)。21・22日、千葉県母親大会。24日 家教連(嵐山町婦人会館)。28・29日 日本母親大会(第2日全体会議は国技館)。
- 8月18日 土浦母と女教師の会。21日 国民の足を守る中央会議。22・23日 全国母と女教師の会。25・26日 障全協(蒲郡竹島ホテル)。
- 9月6日 習志野視聴覚センターで婦人会幹部の会。11日、品川区役所都職労。21日 障全協母親教室(第5回)。
- 10月6・7日 民俗学会(大正大学)。13日 市川市宮田小学校。13日 富津母と女教師の会。16日 朝日講座(22日 第2回、29日 第3回)。

- 18日 障全協母親教室（第6回）。
 11月2・3日 神戸母親教室。8日 東習志野小学校。11日 障都連。13日 習志野実花小学校。
 19・20日 国際児童年の集会。23日 新医協シンポジウム。25・26日 障全協。
 12月1～3日 岡山県長島行。6日 市川富貴島小学校。

1980年（昭和55） 77歳

- 1月9日 NHK ラジオ人生読本「くらしを見つめる」の録音自宅で（放送は28、29日）。29日 野田。
 2月5日 馬込沢南部。24日 成城女の会。
 3月15日 障全協母親教室（第10最終回）。29・30日 障全協総会（富山公会堂）。
 4月8日 習志野婦人講座。19日 日本推進協第1回。20・21日 障全協。
 5月3日 子どもたちが私ら2人の77の祝いを真間の白藤で開いてくれた。5日 子どもまつり。13日 国際障害者年特別委員会（首相官邸）。18・19日 国民の足を守る中央会議（山形県上の山）。31日 名古屋へ出発。
 6月1日 愛障協（名古屋市勤労会館大ホール）。5・6日 会津熱海。10日 食品労連（新座わかば園）。25・26日 守る会友枝さんの招待で菅間さんと日光へ行く（グランド・ホテル）。
 7月10日 家教連の神田百合子さんを見舞いに久留里へ行く。26日 塙（作楽）さんをはげます会。
 8月2日 日本母親大会（大田体育館）。9日 全障研大会（浦和埼玉会館）。17日 岡山（まきび会館）。18日 日教組幼稚園部。23・24日 障全協活動者会議（千葉）。27・28日 三須礼子さんを伴い鳥山へ行く。
 9月5日 横浜婦人部で講話、帰りに山川先生を

- 大井町の病院に見舞う。13日 行徳七中。25日 町田公民館。28日 全国母と女教師の会(新宿高校)。
- 10月3～6日 民俗学会(金沢)。31日 神田百合子さん死去。
- 11月2日 山川菊栄先生死去。30日 障全協第14回(富沢小)。
- 12月1日 デモ行進(障全協)。8・9日 推進協プレ国民会議(駒場エミナース)。13日 山川先生を偲ぶ会(産経会館)。15日 福祉3団体合同会議(久保講堂)。

1981年(昭和56) 78歳

- 1月16日 日教組第30回教研(大田体育館)。24・25日 兵障協(神戸勤労会館)。
- 2月3日 神奈川県磯子婦人部。10日 雇用分科会(総理府)。20日、同予算関係。
- 3月15日 千葉。20～22日 障全協全国交流会(神戸三宮)。30・31日 家教連研究会(熱海伊豆山水葉亭)。
- 4月11・12日 推進協(新宿セブン・シティ)。18日 障全協結成15年レセプション。19日 同総会(生協会館)。
- 5月3日 帝劇の障害者招待会であいさつ。5日 子どもまつり。12～14日 国民の足を守る会(松本浅間温泉)。20日 厚生省へ行く。25日 総理府で雇用分科会。
- 6月18・25日 総理府。27日 推進協総会。
- 7月2日 東神奈川公会堂で母と女教師の会。3日 総理府。25日 推進協。27日 神奈川県教組障害児学校(教師180名出席)。29日 総理府特別委総会。31日 機関紙協会夏期大学(水上ニュー松の井ホテル)。
- 8月1日 水上から長岡母親大会へ出席。2日 同全体会。子どものしあわせ愛読者会。3日

- 帰宅。8日 全障研（浅草国際劇場）。9日 障全協中央大集会。10日 厚生省交渉。13日 瀬川さんから朝日カルチャー・センターの講話の代理を頼まれ横浜で生活史の話をする。16日 山形県上の山で東北障害児学校部、翌日帰宅。23日 母と女教師の会パネル（九段会館）。24日 同分科会。27日 推進協。29日、全社研（成田ビューホテル）。
- 9月2日 総理府雇用委。8日 千葉高教組婦人部。13日 障全協総会。26日 共作連（府中）。27日 千葉ろうの会（船橋ララポート）。28・29日 全交運（箱根）。
- 10月3・4日 民俗学会（跡見学園女子大）。5・7日 総理府雇用委。13日 静岡全家連。21日 戸塚母と女教師の会。26日 川越盲学校。27日 朝日講堂。30日 瀬川さん柳田賞を受ける。31日 推進協。
- 11月2日 山川先生の命日で雪ヶ谷へ行く。6日 市川西部婦人会。7日 推進協総会（駒場エミナース）。8日 千葉全農林。10日 東村山全生園。14日 佐原高女。26日 千葉盲学校。27日 日教組障害児部パネル。28・29日 推進協国民会議（日本青年館・NHKホール）。30日、障全協政府交渉。
- 12月5・6日 新潟市公会堂。7日 帰宅。9日 国際障害者年政府集会（武道館）、夜レセプション（ホテル・ニューオータニ）。14日 久保講堂で3者合同会議。21日 総理府。

1982年（昭和57） 79歳

- 1月11日 推進協。13日 神奈川県瀬ヶ崎小学校で給食に関する集会。
- 2月6日 鴨川公民館。この日鈴木文子さん死去の報を受ける。11日 推進協。16日 横浜市教育会館（もみじ坂）。27日、君津公民館。28

日 成城女の会。

3月5日 渋谷区幡代小学校。7・8日 名古屋民生委員の会。20日 推進協。25日 総理府、午後所沢見学。28日 成城。30日 国鉄問題に関する7人委員会（私学会館）。

4月2～5日 障全協活動者会議で富山行。7日 朝日記者会見。10日 7人委。14・17日 推進協。24日 横浜ニュー・グランド・ホテルで飯田さんの会。30日 7人委。

5月5日 子どもまつり。6日 品川南部労政会館婦人部。15日 守る会シンポジウム（労金会館）。夜、30周年記念会。16日 同総会。24日 7人委（法政大学）。

6月4日 仁戸奈養護学校。7日 船橋小学校PTA。13日 障全協総会（本郷館）。23日 7人委。26日 推進協。

7月12日 7人委。28日 中山老人会で講話。30日 全障研（松戸）。31～8月2日 日本母親大会（京都）。

8月4日 7人委。8日 茨城民俗の会（水戸）。18日 推進協。26日 同総会。28日 7人委。

9月10日 岩手県遠野行。11・12日 日本民俗学会。13日、見学。14・15日 盛岡障害者の会。17日 帰宅。22日 推進協。27・28日 全交運（群馬県水上）。30日 推進協（サンプラザ）。

10月6日 推進協。12日 市川源氏の会の人たちと成東の伊藤左千夫旧宅見学。18日 推進協。22日 高根台文化祭。23・24日 足尾重症児の会。25日 7人委。27日 鎌が谷中部小学校。29日 町田平和集会。

11月初め 横浜杉田小学校。9日 市川南公民館。13日 朝日講座。16日 豊島老人会。17日 町田中央公民館。23日 難聴者団連（八丁堀勤労福祉会館）。27日 推進協（後楽園会館）。この日転倒した。

12月4・5日 障全協。6日 同要請行動。7日 政府主催障害者の日（日比谷公会堂）。14日 袖が浦公民館。午後、国民の足を守る会。

1983年（昭和58） 80歳

- 1月11日 市川南公民館（第2回）。19日 袖が浦公民館。21日、国民の足を守る会。
- 2月5・6日 子どもを守る文化会議（江の島）。高根東小学校PTA。23日 習志野市谷津。
- 3月3日 小金井市暮しの会。8日 推進協常任の会。26・27日 京都府社協。
- 4月23日 推進協総会。
- 5月5日 子どもまつり。14・15日 守る会総会。21日 推進協。24日 千葉青雲会。31日 市川母子推進委総会。
- 6月4・5日 障全協（中野サンプラザ・中野区役所会議室）。11日 全障研みんなのねがい座談会。13日 推進協。午後、全交運。
- 7月8日 高橋はなさん出版記念会（上野）。12日 羽仁家弔問。26日 羽仁五郎を偲ぶ会。30日 日本母親問題別の会（世田ヶ谷）。31日 同全体会（大田体育館）。
- 8月24日 朝出がけに自宅玄関前で転ぶ。
- 9月10日 足試しに上野へ行き松坂屋に蕪村展を見る（祐利同伴）。12日 推進協。
- 10月1～3日 日本民俗学会（名古屋中京大学）。
- 11月5日 船橋仁和小学校PTA。8日 田中寿美子さんのパーティ。12日 藤沢市で「山川さんの横顔」について話す。19日 国際児童年人権デー。23日 和田典子さんのマンションで家教連の人たちが私の80歳を祝ってくた。29日 推進協総会。
- 12月4日 障全協総会（文京盲学校）。5日 福祉3団体の会合（国労会館）。9日 市川市主催障害者の日（勤労福祉会館）。10・11日 推

進協国民会議（セブン・シティ）。

1984年（昭和59） 81歳

- 1月12日 中山婦人会で講話。23日 国民の足を守る会。
- 2月10日 船橋市小室公民館。17日 君津貞元小学校、帰りに大雪の中を歩き脚を痛める。20日 瀬川清子さん死去、不参。このころから筋肉痛で苦しむ。
- 3月23日 足試しに岩間医院まで歩いて行く。
- 4月15日 やや回復したので上野へ行き、示現会に丸山美知子さんの絵を見る。
- 9月8日 市川東部公民館で講演。17日、牛久の住井さん宅で「じかたび」主催の座談会に出る（住井すゑ・石井あや子・櫛田ふき・矢島せい子『いのち永遠に新し』1985・8）。19日 家教連の本橋さんと鯨井さん来訪。
- 11月20日 預っていた薄井墓を中野から鷺子へ移すため同地に行き、21日 昭願寺で法要を営む（祐利・敏彦ほか同行）。

1985年（昭和60） 82歳

- 1月18日 子どもを守る会へ車で行く。
- 2月19日 東京駅へ行くタクシーに正面から打ち当たった車があり、怪我はなかったが、衝撃を受けた。
- 3月6日 迎いの車が来て八千代市へ講演に行く。
- 4月1日 国鉄問題の会合に出かけて泊まる。
- 5月24日 国鉄問題の会合。

1986年（昭和61） 83歳

- 1月6日 岩間医院へ貧血の薬をもらいに行った帰りにひたたくりに突き倒されハンドバッグを奪われる。打撲傷は比較的軽いほうだったが、衝撃を受けてしばらく寝込む。
- 4月23日 朝8時国民の足を守る会に行き、午

後3時帰宅（車で）。27日 障害者を新幹線に乗せる催しで三島まで往復。それから家教連20周年の会（教育会館）に出席。

5月18日 子どもを守る会総会。24日、障全協総会。

7月11日 全身かゆく岩間さんに来てもらう。肝臓の機能低下によるジンマシンといわれ、当分タンパク質をとめられる。21日 白味の魚と牛乳が許され、やや良くなる。

10月には老化以外格別のことはないと診断された。

11月7日 迎えの車が来て国民の足の会へ行く。

1987年（昭和62） 84歳

この年は岩間さんへ行くのも困難になる。4月に検診に来てもらった時は、静かにしていること、貧血だから鉄剤を呑むことなど。5月ごろから食欲減退。10月21日からベッドへ上がったりが下がりたりが困難となり、28日市川東病院へ入院。越年。

1988年（昭和63） 85歳

1月24日午後8時43分死去。病名は大腸がん。28日 市川市高石神泰福寺にて葬儀。31日 市川霊園第4区11の12号矢島墓に納骨。

（矢島祐利編、『矢島せい子の足跡』ドメス出版、1989より）